

調布「憲法ひろば」

WEB サイト <http://www.geocities.jp/chofu9jou/index.html>

第 8 号

7月18日
2005年

発行=憲法「九条の会」調布のひろば

〒182-8511 調布市国領町 2-5-15
あくろす2階 市民活動支援センター内
メールボックス6番
FAX 番号：0424-83-1566 大野気付

E-Mail : chofu9jou@yahoo.co.jp

梅田正己さん 日中韓 3 国共通歴史教材の成り立ちを語る



第6回調布「憲法ひろば」

7月17日(日)、午後1時半からあくろすホールで開いた第6回調布「憲法ひろば」には初参加 14 人を含む 51 人が参加しました。

日本・中国・韓国共同編集「未来をひらく歴史：東アジア三国の近現代史」はすでに五万五千冊を発行、さらに増刷に入っています。侵略した国と侵略された国との間で、みごとに歴史認識の共有を実現した本書の魅力は、どのようにして生まれたか？ 今回のひろばは、本書の発行を担った高文研の梅田正己(まさき)代表(左写真)に、その成り立ちと感慨を大いに語っていただきました。四年前に、侵略戦争美化、歴史的事実も憲法も否定する「新しい歴史教科書」が検定を通過してか

3年がかりの対話と討論を通してここまで来た!

り、侵略された側には民衆の苦難とともに抵抗の歴史があることも共有できました。：静かで熱い梅田さんの話には、多くの質問・意見、「いい本に出会いました」との熱い感想が出され、世話人会が用意した五十冊の本も完売。憲法を守り、日本を戦争する国にさせない道に世界的道理があることを確信した半日でした。



ら、三国の研究者たちが歴史認識に関する連続的対話を開始し、翌年から三年がかりで十一回の国際編集会議を重ねました。その中で、歴史的事実についての解釈や評価は立場によって異なることはあっても、歴史的事実についての認識は共有できることを確かめてきました。「国境を越えた視点」から見ると、三国がそれぞれに近代化のプロセスを持ってお

歴史認識は共有でいよう

8月合宿にご参加ください

いつもの例会ではなかなか語りつくせない1人ひとりの戦争体験、戦後体験、憲法への思いをじっくりと交流し語り合うために、8月例会は泊りがけで行ないます。ぜひ多くの方の積極的なご参加を願います(申込み受付中)。

日時：8月20日(土)15時
～21日(日)正午

場所：大学セミナーハウス
東京都八王子市下柚木 1987-1
TEL:0426-76-8511
FAX 0426-76-1220

憲法の思いを語り合おう

歴史と憲法を否定する つくる会教科書NO!

司会の富永世話人が訴え

今回の司会は調布・子どもと教育を考える市民会議の富永信哉さん(深大寺東町在住の世話人=下写真)にお願いしました。富永さんは、梅田さんの話と関連付けながら、調布市教育委員会が7月27日、8月1日、8月5日にグリーン小ホールで調布市内の公立中学校で使用する教科書を採択するが、問題の「つくる会教科書」を採択する危険が強まっていると強調。各人がつくる会教科書NO!を教育委員に働きかけ、3日間の教育委員会を傍聴しようと訴えました。



調布教育委への緊急な働きかけが重要